

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第2区分
 【発行日】平成22年5月27日(2010.5.27)

【公表番号】特表2009-531367(P2009-531367A)
 【公表日】平成21年9月3日(2009.9.3)
 【年通号数】公開・登録公報2009-035
 【出願番号】特願2009-501968(P2009-501968)
 【国際特許分類】

A 6 1 K 31/7076 (2006.01)
 A 6 1 K 31/708 (2006.01)
 A 6 1 P 43/00 (2006.01)
 A 6 1 K 49/00 (2006.01)
 A 6 1 P 9/10 (2006.01)
 A 6 1 P 25/00 (2006.01)
 A 6 1 P 11/00 (2006.01)
 A 6 1 P 9/02 (2006.01)
 A 6 1 P 7/02 (2006.01)
 A 6 1 P 9/04 (2006.01)
 A 6 1 P 41/00 (2006.01)
 A 6 1 P 9/08 (2006.01)
 A 6 1 P 1/18 (2006.01)
 A 6 1 P 29/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/7076
 A 6 1 K 31/708
 A 6 1 P 43/00 1 2 1
 A 6 1 K 49/00 A
 A 6 1 P 9/10
 A 6 1 P 25/00
 A 6 1 P 11/00
 A 6 1 P 9/02
 A 6 1 P 7/02
 A 6 1 P 9/04
 A 6 1 P 41/00
 A 6 1 P 9/08
 A 6 1 P 43/00 1 0 5
 A 6 1 P 1/18
 A 6 1 P 29/00
 A 6 1 P 9/10 1 0 3

【手続補正書】
 【提出日】平成22年3月30日(2010.3.30)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項1】

約 1 : 1 ~ 約 1 : 9、または約 1 : 1 ~ 約 20 : 1 のアデノシン : イノシン重量比でのアデノシンおよびイノシンから本質的に構成される医薬的に活性な成分を含む、医薬組成物。

【請求項 2】

前記比が約 1 : 3 ~ 約 1 : 6 であるか、該比が約 1 : 4 であるか、該比が約 1 : 5 であるか、該比が約 10 : 1 であるか、または該比が約 7 : 1 ~ 約 4 : 1 であり、必要に応じて、前記医薬組成物が、静脈内、心房内、または動脈内注入に適している、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 3】

アデノシンおよびイノシンが、静脈内投与に適した濃度で存在し、アデノシンの服用量速度が 10 ~ 100 $\mu\text{g} / \text{kg} / \text{分}$ でありかつイノシンの服用量速度が 10 ~ 2000 $\mu\text{g} / \text{kg} / \text{分}$ であるか、アデノシンの服用量速度が 35 ~ 70 $\mu\text{g} / \text{kg} / \text{分}$ でありかつイノシンの服用量速度が 35 ~ 350 $\mu\text{g} / \text{kg} / \text{分}$ であるか、またはアデノシンの服用量速度が 50 ~ 70 $\mu\text{g} / \text{kg} / \text{分}$ でありかつイノシンの服用量速度が 10 ~ 35 $\mu\text{g} / \text{kg} / \text{分}$ である、請求項 1 または 2 に記載の医薬組成物。

【請求項 4】

前記アデノシンの濃度が、約 0.5 ~ 4 mg / ml であるか、約 3 mg / ml であるか、または約 4 mg / ml であり、および / あるいは、前記イノシンの濃度が、約 0.3 ~ 約 20 mg / ml であるか、約 0.3 ~ 約 1 mg / ml であるか、または約 3 ~ 約 4 mg / ml であるか、または約 9 mg / ml であるか、約 12 mg / ml であるか、約 15 mg / ml であるか、または約 18 ~ 約 20 mg / ml である、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 5】

約 7 ~ 30 ml または約 200 ~ 750 ml の請求項 1 ~ 4 のいずれ一項に記載の組成物を含む、単位用量であって、該組成物は、無菌の非発熱性流動体である、単位用量。

【請求項 6】

薬物負荷試験の同時投与のための、アデノシンおよびイノシンの組み合わせであって、アデノシンおよびイノシンは、必要に応じて静脈内注入によって約 1 : 1 ~ 約 1 : 20 のアデノシン : イノシン比で投与される、組み合わせ。

【請求項 7】

虚血後の心筋損傷を治療するための同時投与のための、アデノシンおよびイノシンの組み合わせであって、急性心虚血イベント中またはその後の、アデノシンおよびイノシンの少なくとも第 1 の同時非経口注入が投与され、該アデノシンおよびイノシンは、約 1 : 1 ~ 約 1 : 20 または約 1 : 1 ~ 20 : 1 の A : I 比で注入される、組み合わせ。

【請求項 8】

前記急性虚血イベントが心筋梗塞であり、ならびに / または、アデノシンおよびイノシンが、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の医薬組成物で注入され、必要に応じて、アデノシンおよびイノシンが静脈内注入され、そして必要に応じて、

アデノシンが、約 35 ~ 70 $\mu\text{g} / \text{kg} / \text{分}$ の速度で注入され、および / または、イノシンが、35 ~ 210 $\mu\text{g} / \text{kg} / \text{分}$ の速度、200 ~ 600 $\mu\text{g} / \text{kg} / \text{分}$ の速度、もしくは 10 ~ 30 $\mu\text{g} / \text{kg} / \text{分}$ の速度で注入される、請求項 7 に記載の組み合わせ。

【請求項 9】

前記第 1 の非経口注入が、急性虚血の開始から 6 時間以内に始まり、ならびに / または、アデノシンおよびイノシンの少なくとも第 2 の同時非経口注入がさらに投与され、ここでアデノシンおよびイノシンは、約 1 : 1 ~ 約 1 : 20 または約 1 : 1 ~ 20 : 1 の A : I 比で注入され、必要に応じて、各注入が少なくとも 30 分間の期間である、請求項 7 ~ 8 のいずれか一項に記載の組み合わせ。

【請求項 10】

中枢または末梢神経系の急性損傷を治療するための同時投与のための、アデノシンおよびイノシンの組み合わせであって、

中枢または末梢神経系への急性損傷中またはその後の、アデノシンおよびイノシンの少なくとも第1の同時非経口注入が投与され、

該アデノシンおよびイノシンは、約1：1～約1：20または約1：1～約20：1のA：I比で注入され、必要に応じて、該損傷が脊髄の急性損傷または発作である、組み合わせ。

【請求項11】

アデノシンおよびイノシンが、請求項1～3のいずれか一項に記載の医薬組成物で注入され、必要に応じて、アデノシンおよびイノシンが静脈内注入され、そして必要に応じて、

アデノシンが、約80 μ g/kg/分未満の速度で注入され、および/またはイノシンが、35～70 μ g/kg/分で投与され、および/またはイノシンが、10～210 μ g/kg/分で投与され、必要に応じて、

前記第1の注入が、急性損傷の開始から6時間以内に始まり、そして必要に応じて、

アデノシンおよびイノシンの少なくとも第2の同時非経口注入がさらに投与され、ここでアデノシンおよびイノシンは、約1：1～約1：20または約1：1～20：1のA：I比で注入され、必要に応じて、各注入が少なくとも30分間の期間である、請求項10に記載の組み合わせ。

【請求項12】

急性肺血管抵抗を治療するための同時投与のための、アデノシンおよびイノシンの組み合わせであって

急性心臓血管障害または呼吸器障害中またはその後の、アデノシンおよびイノシンの少なくとも第1の同時非経口注入が投与され、該アデノシンおよびイノシンは、約1：1～約1：20のA：I比で注入される、組み合わせ。

【請求項13】

経皮経管冠動脈形成または血栓溶解における患者の転帰を改善するための同時投与のための、アデノシンおよびイノシンの組み合わせであって、

アデノシンおよびイノシンが、血管形成または血栓溶解中に同時に投与され、アデノシンおよびイノシンは、約1：1～約1：20または約1：1～20：1のアデノシン：イノシン比で投与される、組み合わせ。

【請求項14】

心拍出量を増加させるための同時投与のための、アデノシンおよびイノシンの組み合わせであって、

心拍出量を増加させるのに十分な量および時間、1：1～1：15のアデノシン：イノシン比でのアデノシンおよびイノシンの少なくとも第1の同時非経口注入が投与される、組み合わせ。

【請求項15】

手術後の合併症を予防するための同時投与のための、アデノシンおよびイノシンの組み合わせであって、

アデノシンおよびイノシンが、約1：1～約1：20または約1：1～20：1のアデノシン：イノシン比で投与され、アデノシンおよびイノシンが、集中治療の期間中、外科的処置中または外科的処置の終了直後に投与される、組み合わせ。